**令和歌舞伎**

花車紅彩画(白浪多国籍男)･江戸拘置所の場より

**春がすみ　鐘は上野か浅草か　ゴォーン**

**ゴーン駄衛門　＜日本駄右衛門＞**問われて名乗るもおこがましいが

生まれは遠国ぶらじるで　十四の頃から親放れ

身の生業も軽営の　国を越えたる荒稼ぎ

盗みはすれど非道はせず

人に情けを掛川の　金づる探しの会社と怪社
相手は　ダマされ好きの大和撫で彦

コストキラーと　噂は実力以上に飛び交って
危ねえその身の境界も

最早六十に　痴呆の定めは僅か六十年

六十余州に隠れのねぇー
阿漕の張本　ゴーン駄右衛門だあー

**ゴーン天小僧菊之助　＜弁天小僧菊之助＞**さてその次は　レバノンの岩本院の稚児あがり
普段着慣れし社服と社帽

口は大きく結んで　由比が浜
打ち込む姿勢に　善人に化けての抜き取り技
油断のならねぇー異国びと

終に　ばればれ身の破れ
悪い浮き名も龍の口

高壁牢へも二度三度　有難いことにただ飯の
江戸拘置所の拘留総代に選ばれて

今や日本無宿と肩書きも　南米育ちのその名せぇー

ゴーン天小僧菊之助たぁー　俺のことだぁー

**再演　拘置所番外編**

**ゴーン天小僧菊之助＜弁天小僧菊之助＞**
知らざあ言って聞かせやしょう
追浜の車と　巷に残せしカーとカー

車種は尽きねえ七里ヶ浜

その生産で夜働き

以前を言やあフランスで　年季勤めの雇われ社長

ここは「親方日の丸」の日産で

散らす蒔き銭あてに　百が二百と機密費の

くすね銭せえ段々に
悪事はのぼる司令塔

花の社屋の囲い部屋　取り込み詐欺も度重なり
お手長ゆえの札付きに　とうとう日産追い出され
それからは　度重なりの拘置所住まい

タダより高い　ものはねぇー

ここやかしこの独房で　小耳に聞いた弁護士の
思わせぶりの弁護士稼業の輩に泣きついて

藁をも掴む思いで「われ無罪！」

名せえゆかりのぉー　ゴーン天小僧菊之助たぁー

俺がことだぁー！

**タダ飲み利得　＜忠信利平＞**
続いて次に控ぇーしは　仏蘭西の巴里育ち
がきの頃から手癖が悪く　ぐれ出しついでに

旅を小股に欧州を

廻って首尾もよしの　目くらまし
まぶな仕事も大概に　足をとめたる巴里の都

再建稼業をあちこちで　押し込み重ねで

金が因縁の罪料は　悔いは無しの二重三重

重なる悪事に高飛びし　あとを隠せし首尾のよさ

お名前騙りの　タダ飲み利得

**赤星ゴーン三郎　＜赤星十三郎＞**
また、その次に控ぇしはー

以前は異国からの渡りびと

家族のために切り取りも　鈍き刃でひたすらに
狙った国に身の錆を　研ぎ直しても抜きかねる
盗み心の深執念　機密費からの切り取りから
カリスマ経営者と　その名も高く

忍ぶ姿も人の目に　終に御用で

今日ぞ命の明け方に　消ゆる間近き星月夜

その名も赤星ゴーン三郎

**難ゴーンりき丸　＜南郷力丸＞**さてどん尻に控ぇしは　磯風荒れぇー小ゆるぎの
知っての通りの曲がり者　人となったる遠国育ち
仁義の道も白川の　社費流用の豪華船

批判の波をすいすいと　もてなし上手でたらし込み
背負って立たれぬ罪科は　その身に重き納め時
悪事千里というからは　どうせ終めえは木の空と
覚悟はかねて鴫立ち沢　然し哀りゃあ身に知らぬ
念仏嫌れぇーな　難ゴーンりき丸だぁー